

【学校長コラム】 アメリカインディアンの教え

新採の年でした。私は、山の中の小さな小学校に赴任し、11名の4年生を担当しました。

まだまだ20代半ばの半人前の教師でしたが気合いだけは入っていました。しかし...
することなすことうまく行かずに、落ち込むまでに時間はかかりませんでした。

そんな私を見かねて、ベテランの先生が一冊の本を手渡してくれました。
「アメリカインディアンの教え(加藤諦三著/ドロシー・ロー・ノルト詩)」です。
紹介します。

批判ばかり受けて育った子は非難ばかりします
敵意に満ちたなかで育った子は誰とでも戦います
ひやかしを受けて育った子ははにかみ屋になります
ねたみを受けて育った子はいつも悪いことをしているような気持ちになります
心が寛大な人のなかで育った子はがまん強くなります
励ましを受けて育った子は自信を持ちます
ほめられるなかで育った子はいつも感謝することを知ります
公明正大ななかで育った子は正義心を持ちます
思いやりのあるなかで育った子は信仰心を持ちます
人に認めてもらえるなかで育った子は自分を大事にします
仲間の愛のなかで育った子は世界に愛をみつけます

とても心に残りました。

「子供は、言われるからするのではなく、自分でそう思うから動く。そう思える環境を、
子供の周りにいる教師がどう作るかが大事なんだよね。」
先輩の言葉は、今でも私の座右の銘です。

だいたい小学校で過ごす毎日が、子供たちにとってそんな「環境」となれるように、いつでも笑顔が溢れるように、大切にしていきたい「教え」です。

